

Financial Results

財務情報(要約)

▶ 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	19/3期 前第2四半期	20/3期 当第2四半期
売上高	9,333	10,222
営業利益	777	518
経常利益	754	513
親会社株主に帰属する四半期純利益	508	277

▶ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	19/3期 前期末	20/3期 当第2四半期末
流動資産	7,403	7,574
固定資産	2,428	3,252
資産合計	9,832	10,827
流動負債	4,192	4,679
固定負債	627	624
負債合計	4,819	5,304
株主資本	4,763	5,039
資本金	300	300
資本剰余金	366	357
利益剰余金	6,408	6,543
自己株式	△2,311	△2,162
その他の包括利益累計額	28	17
新株予約権	13	13
非支配株主持分	207	452
純資産合計	5,012	5,522
負債・純資産合計	9,832	10,827

▶ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	19/3期 前第2四半期	20/3期 当第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	315	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△449	△963
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40	637
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△171	△347
現金及び現金同等物の期首残高	3,894	4,162
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	9	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,732	3,814

Corporate Data

会社概要

▶ 会社概要

社 名	株式会社デジタルハーツホールディングス (DIGITAL HEARTS HOLDINGS Co., Ltd.)
設 立	2013年10月1日
資 本 金	300百万円
発行済株式総数	23,890,800株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード:3676)
主なグループ会社 (※は関連会社)	株式会社デジタルハーツ DIGITAL HEARTS USA Inc. DIGITAL HEARTS (Shanghai) Co., Ltd. Orgosoft Co., Ltd. LOGIGEAR CORPORATION 株式会社ロジギアジャパン LOGIGEAR VIETNAM CO., LTD. 株式会社エイネット Aetas株式会社 株式会社フレイムハーツ * 株式会社ZEG
従業員数(連結)	1,319名(2019年9月30日現在)

▶ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日 定時株主総会	毎年3月31日
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 T E L 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う
公告掲載URL	https://www.digitalhearts-hd.com/

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、投資家の皆様向けの情報をはじめ、事業内容や最新のニュースなど、さまざまな情報を公開しています。

▶ <https://www.digitalhearts-hd.com/>

株主通信

2020年3月期

第2四半期連結累計期間 2019.4.1 ▶ 2019.9.30



デジタルハーツ ホールディングス

証券コード：3676



「人材×技術」で 非連続な成長を目指す

代表取締役社長 CEO

玉塚 元一



当社は現在、**「アジアNo.1の総合テスト・ソリューションカンパニー」**となることを目指し、第二創業期として、主にデバッグ・システムテスト・セキュリティの3つの事業拡大に向けた取り組みを推進しています。2017年6月に第二創業期を開始して以降、社内の構造改革や専門人材の強化、アライアンスやM&Aの積極化等を図って参りましたが、ようやく**「各事業に必要なピースがそろってきた」**と考えています。具体的には、デバッグにおいて、海外需要を獲得するため、外国籍のテスターを250名規模にまで増員したり、システムテストにおいては、案件獲得に必要な不可欠なテストエン

ジニアやテスト自動化に関する技術・ノウハウをM&Aにより獲得するとともに、営業やオペレーション体制の強化等を図って参りました。また、セキュリティにおいては、セキュリティ先進国である米国で評価の高い検査サービスの提供を開始したり、当社独自のセキュリティ監視チームを組成するなど、サービスラインナップの拡充に努めて参りました。さらに、これらのサービスを支える専門的な知見を持つ人材を、当社に登録する約8,000名のテスターの中から輩出できるようにするため、研修プログラムの充実化を図るなど、体系的な教育体制を構築いたしました。

第二創業期をやりきるためには、このような抜本的な改革と強固な事業基盤の創造を今行う必要があると思い、当社としては**「従来にはない規模の先行投資を実施」**いたしましたが、その効果に対する確かな手ごたえを実感しています。それは例えば、デバッグを提供しているゲームメーカーであるお客様から、「モバイルゲームのセキュリティ部分をチェックしてほしい」「ゲームのプロモーション用Webサイトのテストをお願いしたい」といった、デバッグ以外のご依頼をいただけるようになったり、あるいはシステムテストでも、これまでテストの実行しかお任せいただけなかったところが、要件定義やテスト設計、さらには保守・運用まで開発工程の幅広い領域でお声がけいただけるようになりました。

その結果、当期の上期は、売上高10,222百万円（前年同期比109.5%）と**「上期として過去最高の売上高を更新」**することができました。一方、営業利益は518百万円（前年同期比66.7%）と、先行投資の影響もあり減益となりましたが、これまで損失を計上していたエンタープライズ事業が**「第2四半期」**

連結会計期間では黒字化を達成するなど、徐々に改善の兆しが見え始めております。下期については、引き続き攻めの投資は継続しながらも、これまで実施してきた先行投資の効果発現により、売上・利益ともに急拡大する見通しです。通期計画は、決して低いハードルではありませんが、経営陣・グループ全社員一丸となって達成に向け邁進していく所存です。

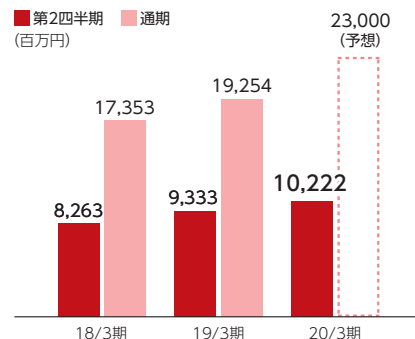
なお、当期の中間配当金につきましては、株主の皆様への日ごろの感謝の気持ちを込め、前期から0.5円増配し、1株当たり7.0円とさせていただきます。これにより、中間配当金と期末配当金をあわせた当期の1株当たり年間配当金は14.0円となる見込みです。今後もさらなる成長を目指し、業績の拡大を図るとともに、株主の皆様への還元に努めて参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

売上高

10,222百万円

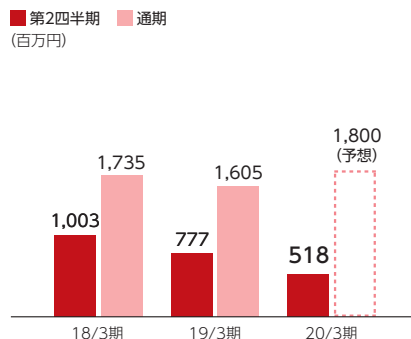
前年同期比
109.5%



営業利益

518百万円

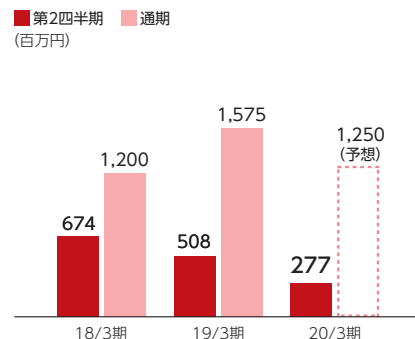
前年同期比
66.7%



親会社株主に帰属する当期純利益

277百万円

前年同期比
54.6%



第二創業期の進捗

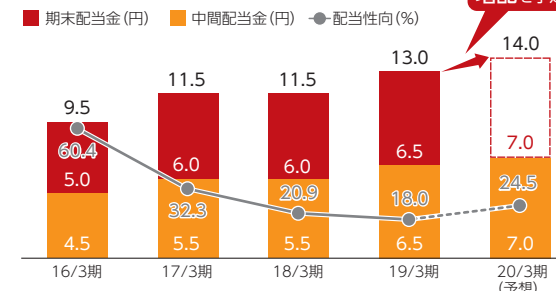
拡大する市場環境に即した多様なサービスの提供に向け
人材・技術・サービスを強化



配当方針

当社は、配当性向20%を下限の目途として、株主の皆様へ安定的な配当を行うことを基本方針としております。

配当金・配当性向の推移



※2016年10月1日を効力発生日として1:2の分割を実施。
そのため17/3期中間配当以前の配当状況はこれらの分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の金額を記載しております。

Review of Operation & Forecast

セグメント別概況と下期の見通し



エンターテインメント事業

コンソールゲーム、モバイルゲーム、パチンコ・パチスロのデバッグ、ゲームの受託開発、プロモーション活動支援等のサービスを提供

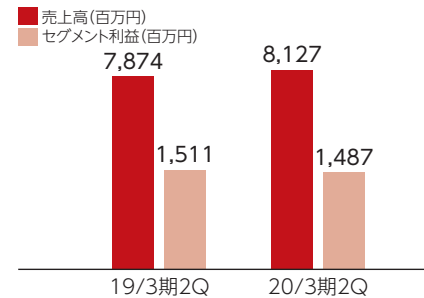
売上高

8,127 百万円
(前年同期比103.2%)

セグメント
利益

1,487 百万円
(前年同期比98.4%)

業績推移



デバッグ

売上高

6,925 百万円
(前年同期比108.3%)

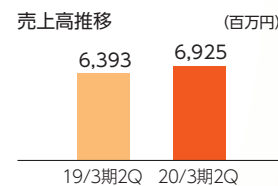
上期のハイライト

- ▶コンソールゲーム、モバイルゲーム、パチンコ・パチスロ向けすべてのサービスで増収を達成
- ▶テストセンターであるLab.の新設等、需要拡大を見据えた受注体制を強化しつつも増益を達成

下期の見通し

- ▶下期以降に発売が予定されているコンソールゲーム案件の稼働本格化により、大きく伸長する見通し

ゲームやパチンコ・パチスロの不具合をユーザー目線で検出し顧客企業に報告するサービスを提供



売上高
構成比
67.8%



クリエイティブ

売上高

657 百万円
(前年同期比61.3%)

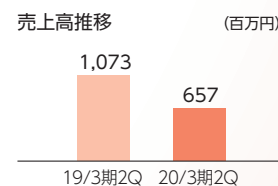
上期のハイライト

- ▶顧客企業におけるモバイルゲームの新規タイトル開発数の減少を受け大幅減収、セグメント全体の減益要因に

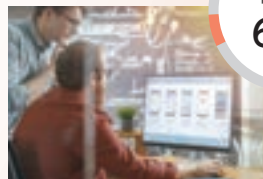
下期の見通し

- ▶デバッグ事業との連携を強化し、売上・利益の拡大を目指す

コンテンツ制作におけるクリエイティブ領域全般にわたる制作サポートサービスを提供



売上高
構成比
6.4%



メディア及びその他

売上高

544 百万円
(前年同期比133.5%)

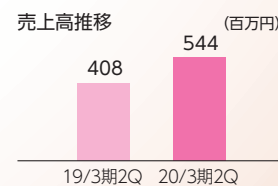
上期のハイライト

- ▶4Gamer.net及びカスタマーサポートともに増収を達成

下期の見通し

- ▶引き続き4Gamer.netを中心に安定的に推移する見通し

日本最大級の総合ゲーム情報サイト「4Gamer.net」等の運営やカスタマーサポートサービス等を提供



売上高
構成比
5.3%



エンタープライズ事業

エンタープライズシステムを対象とするシステムテスト及び受託開発サービスや、ITサポート、セキュリティ等のサービスを提供

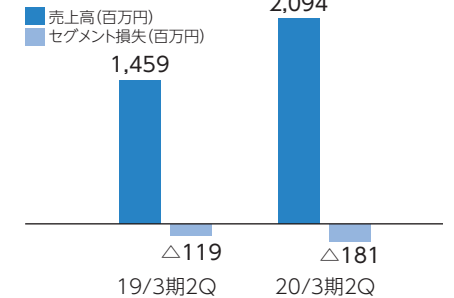
売上高

2,094 百万円
(前年同期比143.5%)

セグメント
損失

△**181** 百万円
(—)

業績推移



システムテスト

エンタープライズシステムの不具合を検出するサービスを提供

売上高

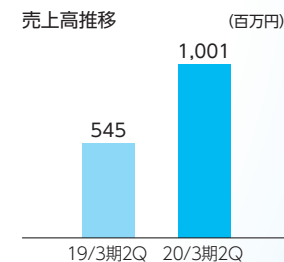
1,001 百万円
(前年同期比183.4%)

上期のハイライト

- ▶新規顧客開拓及び既存顧客との取引拡大が順調に進み、大幅増収を達成
- ▶第2四半期連結会計期間に、第二創業期として初めての黒字化を実現

下期の見通し

- ▶新たに子会社化したLogiGearグループ(⇒詳細はP5)の業績が4Qから寄与する見通し
- ▶攻めの投資を継続しながらも、黒字化継続を目指す



売上高
構成比
9.8%



ITサービス・セキュリティ

システムの受託開発やITサポート、セキュリティ等のサービスを提供

売上高

1,093 百万円
(前年同期比119.7%)

上期のハイライト

- ▶システムの受託開発が好調に推移
- ▶大手企業向けセキュリティサービスの新規案件を獲得し、大幅増収を達成

下期の見通し

- ▶セキュリティサービスの販売力を強化(⇒詳細はP6)し、さらなる成長を目指す



売上高
構成比
10.7%



1

テスト自動化の豊富な知見・実績を有する LogiGearグループを子会社化

LogiGearグループ特徴

1 米国シリコンバレーで
25年事業を展開



2 マネジメントは
システムテスト業界
の権威



3 最新技術を活用した
独自の自動化
ツール



4 ベトナムにおける
約500名の
自動化エンジニア



システムテスト事業の数値目標

システムテスト事業の
非連続な成長を目指す

LogiGearグループ
子会社化

売上高
(18/3期実績)
11億円

売上高
(19/3期実績)
14億円

自動化ツール
×
自動化エンジニア

売上高
(20/3期目標)
27億円

売上高
(中期目標)
100億円

第二創業期
スタート

テストエンジニアの
確保・育成に注力

(株)エイネットを
子会社化

2017

2019

2022以降

年度

2

セキュリティ事業のさらなる拡大に向け 株式会社ラックと 合併会社を設立

新設
合併会社

株式会社レッドチーム・テクノロジーズ

クラウドソーシングによる
ホワイトハッカーサービスの提供や
セキュリティに関する技術支援を実施

出資比率
60%

国内有数のテスト専門企業



DIGITAL HEARTS HLDGS.

出資比率
40%

国内セキュリティ大手



3

自己株式の取得

2019年11月11日の取締役会において、今後の事業展開に応じた機動的な資本政策を遂行するとともに、株主還元及び資本効率の向上を目的に、自己株式を取得することを決議いたしました。

取得期間	2019年11月12日～2020年2月6日
取得株式総数	70万株 (上限) ※発行済株式総数 (自己株式を除く) に対する割合: 3.18%
取得価額総額	5億円 (上限)

■(ご参考)

2019年10月31日時点の自己株式の保有状況
発行済株式総数 (自己株式を除く) 22,004,816株
自己株式数 1,885,984株



Stock Information 株式の状況(2019年9月30日現在)

▶ 株式の状況

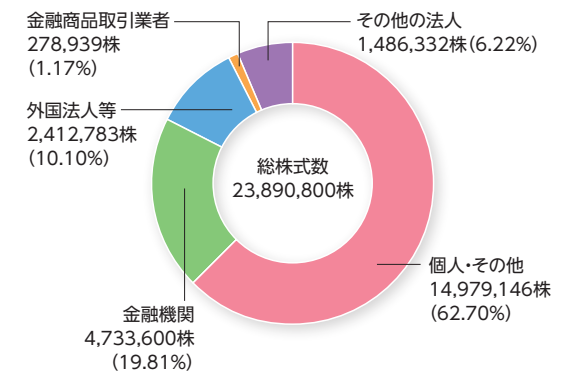
発行可能株式総数	76,800,000株
発行済株式の総数	23,890,800株(自己株式1,885,984株を含みます。)
株主数	8,080名

▶ 大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
宮澤 栄一	7,106,891	32.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,496,400	15.88
A-1合同会社	1,324,900	6.02
A&G共創投資第1号投資事業有限責任組合	1,095,983	4.98
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH	389,700	1.77
CLIENTS- UNITED KINGDOM		

(注) 1. 当社は、自己株式1,885,984株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

▶ 所有者別株式分布状況



※「個人・その他」には自己株式1,885,984株(7.89%)を含んでおります。